

お手持ちのパソコンで議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局(表紙参照)までお寄せください。

# 追跡

## — あの質問のゆくえ —

### 町の食育・食農基本法を示しては

食育・食農の重要性を考える時、国には食育基本法があります。不足を補うものとして、町の食育・食農基本法を示せればと思います。どうですか。平成20年3月定例議会

町長答弁

### 具体的な実践を目指す

食育・食農の推進計画は、具体的な実践を目指し策定をしていきます。

どうなった

### 毎月19日は「家族団らんの日」

白鷹町食育推進計画は、平成22年12月に決定し、町民総参加で取組む食育推進計画となっています。町民一人ひとりが、生涯にわたって心身を健康に保ち、豊かな感性を持っていきいきと生活できることを町の食育のめざす姿とし「豊かな自然と農ある暮らしに感謝し、すこやかな心と体を育み、笑顔かがやき、未来をつなぐ食文化のまち」を基本理念としています。

推進の柱は「食による健康づくり」「地産地消と安全・安心な食」「食文化の継承」「食の楽しみと感謝の心」の4つの基本目標とスローガンを掲げています。

食の推進の実践にあたっては、家庭を基本としながら学校、地域、関係機関が連携をはかり、毎月19日を「家族団らんの日」として家族そろって食卓を囲めるよう、すべての町民の健全な食生活を支援していく食育推進計画となっています。



給食の配膳風景 (東根小学校)



議員席に飾られた啓翁桜

公民館活動の一環として、数十年振りに議会傍聴をいたしました。

一般質問者の方々は白鷹町の発展をどのように考えているのか、私たちに良く伝わりました。が、正直言って安心と不安も覚ええました。

大震災と放射能汚染と大変な一年でしたが、この町の豊かな自然と住みよい町をいかに、子ども達に伝え残していけるのか、さらに町民が安心して暮らしていける環境をどうつくっていくのかのきめ細かい施策を真剣に検討し、白鷹町を一緒につくって欲しいと思います。

(鷹山地区 60代 女性)

## 町民の声



### 編集後記

東日本大震災から、早一年が過ぎました。その間、福島第一原発の事故による放射能汚染の問題が発生しその測定を開始するなど町にあっても多難の一年となりました。

加えて、今年は昨年を上回る記録的な豪雪となり皆様には、日々、除排雪に追われた毎日ではなかったかと思われまます。

3月定例会で審議された24年度予算は、「子育て・教育」「雇用・産業」「地域」の3分野に重点を置いた対前年度比6.1%増の積極予算となりました。

議会では「議会活性化特別委員会」を設置し、開かれた議会、活力ある議会をめざして改革に努めていくことになりました。

今、春の息吹を感じる桜の季節となりました。「議会だより」も、古くから親しまれてきた古典桜のように、永く皆様に親しまれる紙面づくりに努めてまいります。

発行責任者・議長

青木 彰榮

広報委員

委員長 千鶴子

副委員長・編集長 山田 仁

委員 樋口与一朗

委員 田中 孝

委員 新野いく子

印刷 (南梅津印刷)